教科書
案内ページ

デジタル教科書
サンプル

指導用
パワーポイント
サンプル

※上記のサイトは2025年5月上旬に公開予定です。

		Clear	Smart
レベル		★★標準レベル 文法の確認と定着	★★★標準～発展レベル アウトプットのための文法学習
レッスン数		21レッスン	23レッスン
各レッスンの構成	基本例文	▶6基本例文 基本的な学習項目をカバー	▶7基本例文 基本＋発展的な学習項目をカバー
	文法確認（CHECK）と活動（TASK）の割合	文法確認（CHECK）多め	活動（TASK）多め
	Start-Up （モデル会話）	50～80語程度（平易な語い）	85～120語程度
	WRITE （Writing Goal）	3文から50語の自由英作文	40～60語の自由英作文
日本語訳		Start-Upのモデル会話，基本例文，Vocabularyの日本語訳あり	日本語訳なし
生徒用教材 pp.20-23		▶Grammar Book（教科書応用例文） ▶Essential Grammar Book（教科書例文一致） ▶Workbook ▶My English Portfolio	▶Grammar Book（教科書応用例文） ▶Workbook ▶My English Portfolio

令和8年度用　内容解説資料（ダイジェスト版）

株式会社いいずな書店

Tel. 03-5826-4370　Fax. 03-5812-7030
〒110-0016 東京都台東区台東1-32-8　Crobis 秋葉原４Ｆ
https://www.iizuna-shoten.com

＊QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
＊本冊子の内容は2025年4月現在のものです。掲載されている仕様及び価格等は予告なしに変更することがあります。

IIZUNA SHOTEN

be English Logic and Expression Ⅰ Clear New Edition　令和８年度用 内容解説資料（ダイジェスト版）　IIZUNA SHOTEN

文部科学省検定済教科書　高等学校外国語科用　231 いいずな　論Ⅰ 231-902

English Logic and Expression Ⅰ
New Edition

be Clear

令和8年度用
内容解説資料
（ダイジェスト版）

改訂版

CONTENTS

特色①　文法と活動のバランスがとれたレッスン構成
本書の構成・使い方 …… 2-3

特色②　文法を自然に使って発信できる場面・状況設定
各レッスンの文法項目とトピックリスト …… 4-5
教科書紙面紹介 …… 7-19

特色③　文法学習＆授業準備を充実サポート
生徒用教材 …… 20-23
教師用指導資料 …… 24-29
デジタル教材 …… 30-32

IIZUNA SHOTEN

論理・表現Ⅰ 教科書 改訂版

English Logic and Expression Ⅰ New Edition

目標と学力に応じて選択が可能な3レベル

be Smart

文法の定着を図り
アウトプットにつなげる

★★★ | 標準～発展

23 レッスン

be Clear

文法の基礎を固めて
表現力を身につける

★★ | 標準

21 レッスン

対応参考書

Harmony

楽しく英語を使いながら
文法力を身につける

★ | 基礎～標準

18 レッスン

対応参考書

be Clear Ⅰ

文法の基礎を固めながら
書く力を身につける

3つの特色

特色 1
文法と活動のバランスがとれたレッスン構成

❶導入（文法を含むモデル会話）→❷定着（文法解説・確認問題CHECKと活動TASK）→❸発展（文法を使った自己発信活動）という流れで，文法を軸にコンパクトな活動を必要に応じて行うことができる構成となっています。

》pp.2-3

特色 2
文法を自然に使って発信できる場面・状況設定

各レッスンのトピックに合わせて，モデル会話・文法演習・活動・語彙がすべて統一されています。文法項目を学習しながら，活動で使える知識や技能が自然に身につくので，無理なく自然にアウトプットへとつなげることができます。

》pp.4-19

特色 3
文法学習＆授業準備を充実サポート

教科書と完全リンクの準拠教材Grammar Book・Essential Grammar Bookで，文法の基礎固めをサポート。先生の授業準備は，各レッスンのPowerPointと充実のワークシート（指導用データDVD-ROMに収録）の活用で万全です。

》pp.20-32

特色 1

文法と活動のバランスがとれたレッスン構成

導入 定着 発展 の3ユニット構成。自然な流れで，学習した文法を使って短い文を書く練習ができます。各レッスンのGOALである，SHAREとWRITEの発信活動につなげます。

各レッスンの流れ

文法を軸とするシンプルな4ページ構成

レッスン内のモデル会話・文法演習・活動・語彙はすべてレッスンのトピックの内容に統一されています。

導入（1ページ目）

Start-Up p.7, 11

文法を含むモデル会話

❶ Start-Up / Listening TASK
学習文法項目が会話の中でどのように使われるかを学習し，内容をリスニングで確認。

❷ Forms / Expressions
文法を使って何が表現できるかを説明。やり取り等の活動で使える機能表現も紹介。

定着（2-3ページ目）

Interactions pp.8-9, 12-13

基本例文・文法解説➡
確認問題（CHECK）➡
活動（TASK）へ

❸ 基本例文 / F-GUIDE（文法解説）
レッスンのトピックの内容に合わせた例文で文法学習しながら，活動の基盤づくり。文法説明が学習の助けとなる。

❹ CHECK（文法確認問題）
演習問題を解きながら，学習文法項目を確認し，理解度をチェック。

❺ TASK（活動）
❸や❹で学んだことを実際に使って試してみるコンパクトな活動（書く・発表・やり取り）。

❻ Vocabulary
❺の活動のヒントとなる語彙・表現集。

発展（4ページ目）

Active Learning p.10, 14

学んだ文法を使って自己発信活動

❼ SHARE（Speaking Goal）
グループでやり取りをしながら考えをまとめ，発表する。

❽ WRITE（Writing Goal）
レッスンのトピックについて3文程度～50語の英文を書く。

GOAL

特色 2

文法を自然に使って発信できる場面・状況設定

各課の例文や文法問題はすべてトピックの内容に関連。学習した文法を無理なく活動につなげられる仕組みで，スムーズに授業を進めていただけます。

各レッスンの文法項目とトピックリスト

4つのZoneで身近なことから社会・文化的トピックへ展開

1st Zone ≫ 自分のことや身近な人のことを話す
2nd Zone ≫ 日々の生活について話す
3rd Zone ≫ したいことやしていることを話す
4th Zone ≫ 説明する・自分の考えを話す

ZONE	LESSON	文法項目	トピック	タイトル	配当時間
	Introduction		5文型と品詞		1
1	1	現在形	自分のこと	Meeting People	2
	2	過去形	休日・週末にしたこと	Holidays and Weekends	2
	3	未来の表現	予定	Making Plans	2
	4	現在完了形	経験	Experiences	2
	5	過去完了形	学習・課外活動	Study and Activities	2
	Logical Writing①		叙述文を書いてみよう！（高校入学前の出来事）		1
	1st Zone まとめの活動		スピーチをしてみよう！（高校入学前の出来事）		1
2	6	助動詞①	食べ物	Food	2
	7	助動詞②	学校生活	School Life	2
	8	助動詞③	日常生活	Daily Life	2
	9	受動態	建物や交通	Buildings and Transportation	2
	Logical Writing②		意見文を書いてみよう！（学校に規則は必要か）		1
	2nd Zone まとめの活動		Logical Thinking　論理的に考える		1
3	10	不定詞①	将来	The Future	2
	11	不定詞②	健康	Staying Healthy	2
	12	不定詞③	電化製品	Electrical Appliances	2
	13	動名詞	趣味・興味	Hobbies and Interests	2
	14	分詞①	自然	The World of Nature	2
	15	分詞②	トラブル・問題	Trouble and Difficulties	2
	Logical Writing③		説明文を書いてみよう！（絶滅危惧種の動物）		1
	3rd Zone まとめの活動		プレゼンテーションをしてみよう！（絶滅危惧種の動物）		1
4	16	関係代名詞①	発明・発見	Inventions and Discovery	2
	17	関係代名詞②	職業・社会活動	Career and Social Service	2
	18	関係副詞	行事・慣習	Events and Customs	2
	19	比較①	生活環境	Living Environment	2
	20	比較②	社会問題	Social Problems	2
	21	仮定法	願い事	Making a Wish	2
	Logical Writing④		問題解決文を書いてみよう（日本の労働者不足）		1
	4th Zone まとめの活動		ディスカッションをしてみよう！（都会の暮らしと地方の暮らし）		1
Plus	Logical Writing⑤		説得文を書いてみよう！（学校でのスマートフォン使用）		1
	まとめの活動		ディベートをしてみよう！（学校でのスマートフォン使用）		2
				計	54

1学期

2学期

3学期

授業展開例

文法主軸／活動主軸，または文法と活動を組み合わせて，多様な授業展開が可能です。

授業２コマ／１レッスンのペースを想定した場合

	文法＆活動バランス型	文法主軸	活動主軸	
導入 （1ページ目） **モデル会話**	**モデル会話を聞く** ↓ **ロールプレイ** ↓ **会話の内容を確認** ▶教科書 Listening TASK ↓ **発音解説**	**モデル会話を聞く** ↓ **会話の内容を確認** ▶教科書 Listening TASK	**モデル会話を聞く** ↓ **ロールプレイ** ↓ **会話の内容を確認** ▶教科書 Listening TASK ↓ **発音解説**	1コマ目
定着 （2-3ページ目） **文法解説** 例文，F-GUIDE **確認問題** CHECK **言語活動** TASK	**基本例文確認** ↓ **文法解説** ↓ **文法演習** ▶教科書 CHECK ↓ **言語活動** ▶教科書 TASK ↓ **【宿題】** ▶ Grammar Book ▶ Workbook 授業では，教科書のみでコンパクトに文法解説・演習を行い，宿題の準拠教材で補強する	**基本例文確認** ↓ **文法解説** ▶文法参考書 ▶ Grammar Book ▶補助プリント ↓ **文法演習** ▶教科書 CHECK ▶ Grammar Book ▶補助プリント ↓ **余裕があれば活動** ▶教科書Ⓐ TASK 活動はメインのⒶのみ ↓ **【宿題】** ▶ Grammar Book ▶ Workbook	**基本例文確認** ↓ **文法演習** ▶教科書 CHECK ↓ **言語活動** ▶教科書 TASK ↓ **【宿題】** ▶ Grammar Book ▶ Workbook 文法解説・演習は準拠教材に任せ，言語活動に時間を割く	2コマ目
発展 （4ページ目） **話す活動** SHARE **書く活動** WRITE	**話す活動を行う** ▶教科書 SHARE ①モデル英文の確認 ②自己発信の文作成 ↓ **書く活動を行う** ▶教科書 WRITE	**話す活動を行う** ▶教科書 SHARE ①モデル英文の確認 ②ロールプレイ ↓ **書く活動を行う** ▶教科書 WRITE パラグラフライティング	**話す活動を行う** ▶教科書 SHARE ①モデル英文の確認 ②自己発信の文作成 ③グループで共有 ↓ **書く活動を行う** ▶教科書 WRITE パラグラフライティング	

教科書紙面紹介

LESSON 1 Start-Up（導入）

ターゲットの文法項目が実際にどのように使われるのか，モデル会話で確認できます。

LESSON 1 **Meeting People**
自分のことを話す

Start-Up 学校の近くで，登校中のMikeとShotaが会いました。

Mike: Good morning, Shota!
Shota: Oh, good morning, Mike! Do you walk to school?
Mike: No. I live far from here, so I usually take the train. It takes about an hour.
Shota: An hour? Wow! I live nearby, so I walk to school. It only takes ten minutes.
Mike: Oh, really! You're lucky! I don't like the long train ride.

Listening-TASK True or False? 1. T / F 2. T / F 3. T / F

Tips for Better Communication 相手からの問いかけに答えるときに，もう１つ情報を加えて返しましょう。会話にリズムが生まれ，その情報をもとにさらに会話を発展させることができます。

Forms 現在のことは現在形で表す
現在のことを伝えるときには，動詞の現在形を使います。現在形を使うと，「住んでいる」のような**現在の状態**や，「電車に乗る」など，**ふだん繰り返し行うこと**を表すことができます。
I **live** far from here.
I **take** the train.
このような文の動詞の現在形が表すのは，「今」を中心として，過去から現在，そして未来へと広がる時の範囲です。Do you walk to school?であれば，今現在だけのことではなく，「いつも徒歩通学なの？」とたずねているのです。

Expressions あいづちで関心を示す
Oh, really!のようなあいづちを打つことで，「そうなんだ！」と相手の話に関心をもっていることを伝えることができます。**Really?**なら「そうなの？」というニュアンスです。**I see.**「なるほど」と言って，理解を示すこともできます。

Sounds /l/と/r/の発音
/l/は舌先を上の歯茎にあてて発音し，/r/は舌先をどこにもつけず舌全体をうしろに引いて発音します。
live, lucky, long, usually, school / really, ride, from, train, friend
light/right, lead/read, glass/grass, collect/correct

Talk
会話の内容を確認し，MikeとShotaになりきって会話をしてみよう！

Pick-Up 「学校には電車で来ます」と言うとき，交通手段を表すbyを使ったI come to school by train.でも通じますが，**I take the train** (to school).とすると英語らしい表現になります。バスや自転車ならI take the bus. / I ride my bike[bicycle].という表現を使います。徒歩通学であればI walk to school. が自然な表現です。

13

各レッスンでトピックを設定
- モデル会話
- 基本例文
- 文法演習
- 活動
- 語彙

↑ トピックで統一

授業の流れ
❶Start-Upで文法の使われる状況・場面を確認。
❷Listening-Taskで会話の内容確認。
❸FormsやExpressionsで，文法や表現への理解を深める。

教科書紙面紹介

LESSON 1 Interactions（定着）

文法と活動をバランスよく授業で扱うことができる構成です。文法学習➡演習（CHECK）が終わったら，「学んだことをその場で使ってみる」活動（TASK）を通して文法の定着を図ります。

Input

文法の確認

❶6つの基本例文
❷簡潔な文法解説（F-GUIDE）
❸文法確認（CHECK）

Output

文法の定着

❹コンパクトな活動（TASK）で「学んだらすぐに使ってみる」

文法を自然に使える場面・状況設定

TASKをサポート

Interactions 自分のことや身近な人のことを話す

A 現在のことを表す　現在形

❶
① I **have** a cat and **love** him so much.
② I *usually* **get** to school at 8:30.
③ My mother **teaches** biology at a high school.

❷ F-GUIDE 次のような場合は動詞の現在形を使う。
①「持っている」「住んでいる」のような**現在の状態**や，「好きだ」のような**現在の心理的な状態**を表すとき。
②**繰り返しすること**や**習慣**になっていることを表すとき。
③**職業**や**習性**，**話す言語**などを表すとき（She speaks several languages.）。

❸ CHECK [　] から選んだ語を適切な形にして，現在のことを表す英文を完成させよう。
[walk / look / live / have / import / work / support]
1. My grandfather (　　) in Okinawa. He (　　) his dog every day.
2. Andy (　　) twin sisters. They (　　) like each other.
3. Sara and I are soccer fans. We (　　) the local team.
4. My uncle (　　) for a trading company. He (　　) coffee beans.

CHECK の解答参考に

❹ TASK 1 CHECK を参考に，自分や家族など，身近な人について友人に紹介する文を3文で書いてみよう。

書いたことを使って話す

TASK 1 書く

TASK 2 ペアになって TASK 1 で書いたことを話してみよう。相手は E-GUIDE の表現を使って反応したり，質問したりしよう。

例 **A:** My brother **is** a university student. He **works** part-time nowadays.
B: Really? What **does** he **do**?
A: He **works** at a hamburger shop. I sometimes **go** there after school.

TASK2 話す やり取り

E-GUIDE 相手の発言内容に対して感じたことをあいづちで表現しよう。
・I see.（なるほど，わかった）　・I think so, too.（私もそう思います）　・Is that true?（本当に？）
・I can't believe it!（信じられない！）　・Really!（そうなんだ！）/ Really?（本当？，そうなの？）　・No way!（ありえない！）
・That's nice [good / great / wonderful / fantastic]!（すばらしい！）　・That's too bad.（それはお気の毒に）

Vocabulary

QR フラッシュカード音声付 》》p.32

・be good at（～が得意である）
・resemble [look like]（～に似ている）
・be a graduate of（～の卒業生である）
・work for [in, at]（～で働く）
・leave for school（学校に出かける）
・walk to school（徒歩通学する）
・wait for the bus（バスを待つ）
・belong to（～に所属している）
・walk one's dog（犬の散歩をする）
・brush one's teeth（歯を磨く）
・get dressed（着替える）
・have [eat] breakfast（朝食をとる）
・do club activities（部活動をする）
・go to cram school（塾に行く）
・work part-time（アルバイトをする）
・go shopping（買い物に行く）

LESSON 1

B 途中であることを表す　現在進行形

④ I'm **writing** an essay for my English class.
⑤ I think my cat **is getting** fat.

F-GUIDE 次のような場合は現在進行形（am/are/is+動詞のing形）を使う。
④**現在している最中のこと**を表すとき。
⑤**変化している途中のこと**や，**現在の一時的な状態**（She's living in New York.）を表すとき。

CHECK [　] から選んだ語を適切な形にして，英文を完成させよう。　[wear / get / take]
1. After a long discussion, they _____ a break now.
2. It _____ dark. Let's go home.
3. My sister _____ a suit for today's ceremony.

TASK イラストの状況を想像して説明する文を，語句を参考に書いてみよう。

[listen / sing]　[wait / look at]　[set / get cold]　[live / study]

例 **1.** Ren **is listening** to music. He **is singing** along. Maybe it is his favorite song.

C これからの予定を表す　現在進行形：予定

⑥ My grandmother **is visiting** us *tomorrow*.

F-GUIDE 次のような場合は現在進行形を使って予定を表すことができる。
⑥これからしようとしている**個人的な予定**を表すときに**現在進行形**を使う（「いつするのか」を示す表現を入れる）。

CHECK (　) に適切な語を入れて英文を完成させよう。
1. "What are you (　　) after class?" "I'm (　　) tennis with my sister."
2. My mother and I are (　　) shopping this weekend.

TASK 今日の放課後か週末の予定を自由に考えて書いてみよう。

Input

Output

活動（TASK）のアイコン

アイコンを大きく見やすく配置。TASK でどの活動ができるか一目瞭然。

やり取り　発表　書く　協同学習

Self-Check（できることに✓を入れよう）
□ A 現在のことを表すことができる。
□ B 途中であることを表すことができる。
□ C これからの予定を表すことができる。

多種多様なワークシートで文法学習（Input）も活動（Output）も徹底サポート 》》pp.26-27

教科書紙面紹介

LESSON 1 Active Learning（発展）

SHARE と WRITE で，各レッスンの総仕上げをすることができます。

LESSON 16 Start-Up（導入）

Active Learning
Meeting People

Speaking の Goal

やり取りの例で取り組みやすく

①の例を使ってペアまたはグループでやり取り。
②メモを元に発表。

SHARE クラスメイトのことを紹介しよう

①クラスメイトにインタビューして，集めた情報をメモしよう。

例 Which junior high school did you go to?
How do you come to school?
What do you do in your free time?
What is your favorite sport [food/subject]?

name / school	_____ went to _____.
train / bus / bike / walk	He/She _____.
free time	He/She _____ in his/her free time.
favorite thing	His/Her favorite _____ is _____.

②インタビューしたクラスメイトのことをグループに紹介しよう。

聞き手はそれぞれの発表について，感想を言ったり質問したりしよう。

Writing の Goal

ステップを踏んだ学習が可能

①でアイデアを書き出し，②で文を組み立てて，英文を書く。

WRITE 「朝の習慣」について書こう

①自分が朝していることを書き出そう。

例 I get up at 6:00. I get dressed. I eat breakfast.
I ride my bike to school. It takes fifteen minutes.

②andやfirst, then, after thatなどを使って，時間の流れにそって朝の習慣を書いてみよう。

_____

_____

例 I usually **get** up at 6:00. First, I **get** dressed, and then I **eat** breakfast. I sometimes **take** my dog for a walk. After that, I **leave** for school at 7:15.

Self-Check
インタビューしたクラスメイトを紹介することができた。3 2 1
朝の習慣について，時間の流れにそって書くことができた。3 2 1
3：よくできた。2：まあまあできた。1：あまりできなかった。

Logical Thinking

自分のことを伝えるときに，I play the piano. I read many books. のようにばらばらの事実を並べるだけではつながりのない文章になってしまいます。I play the piano. I love classical music. のように，前の文につながるような情報を加えるなど，文と文の関連を意識して，まとまりのある文章にしましょう。

16

充実のワークシートでサポート p.27

LESSON 16 Inventions and Discovery
発明・発見について話す

Start-Up Shotaが自分の部屋で，Mikeに何かを見せています。

Shota: What do you think of this? It's a present that my aunt sent me.
Mike: The aunt who lives in Osaka?
Shota: Yeah, that's her. She works at a company that sells these things.
Mike: It's just a toothbrush, isn't it?
Shota: Yes and no. There are smartphones and smartwatches, right? Well, this is a smart toothbrush!

Listening-TASK 1. T / F 2. T / F 3. T / F

Tips for Better Communication 自分の考えを断定的に伝えるのではなく，It's just a toothbrush, isn't it?のように付加疑問を使うと「～だよね」と語調をやわらげることができます。

学習事項を色分けで表示

Forms 関係代名詞を使って名詞に説明を加える

「大阪に住んでいる叔母さん」と言うときは，the auntという名詞のあとに**who** lives in Osakaという説明を加えます（the aunt ← **who** lives in Osaka）。このwhoのように，名詞がどういう人［もの］なのかを限定する使い方を，関係代名詞の**限定用法**といいます。

「これらを販売している会社」の場合も，（a company ← **that** sells these things）という語順で表します（thatは関係代名詞です）。**which**を使うこともできます。

「プレゼント」に「私の叔母さんが送ってくれた」という説明を加える場合は，a present **that** my aunt sent meのように関係代名詞that（またはwhich）に〈主語＋動詞〉を続けるか，名詞に〈主語＋動詞〉を直接続けてa present my aunt sent meとします。

Expressions 感想をたずねる

What do you think of［**about**］…**?** または **How do you feel about** …**?** という表現を使って，「どう思う？」と相手に感想をたずねることができます。How was …?「…はどうだった？」というたずね方もあります。

Sounds /s/の発音

sellの/s/の音は，舌の先を上の歯茎に近づけて，すき間から強く息をもらすようにして発音します。
send, sell, smartphone, stay, sea, swim, message, face, nice

Talk

会話の内容を確認し，ShotaとMikeになりきって会話をしてみよう！

Pick-Up Yes and no.は「どちらとも言えない」という意味です。この場面では「ただの歯ブラシとも言えるし，そうじゃないとも言える（見方による）」というニュアンスです。

99

QRコード
- Start-Up
- Sounds
- 基本例文
- E-GUIDE
- Vocabulary

音声やフラッシュカードで学習できる。
p.32

リスニング問題例

Listening TASK
LESSON1
True or False
1. Shota walks to school.
2. Mike takes about an hour-long train ride to school.
3. Mike doesn't like to walk.
1. T 2. T 3. F

LESSON 16
Interactions（定着）

Interactions 技術・発明・発見・偉業について話す

A 名詞に〈関係代名詞＋動詞〉を続けて説明を加える　主格：主語のはたらき

① *The person* **who** discovered X-rays was a German scientist.
② They're creating *robots* **that** will help people with disabilities.

F-GUIDE 名詞に説明を加える節の中で，関係代名詞は主語のはたらきをする。
①人を表す名詞に説明を加えるときは**関係代名詞 who** を使い，その人が何をするのか・したのかを説明する。
②人以外を表す名詞に説明を加える場合は，**関係代名詞 that** か **which** を使う（robots which will help people ...）。
＋「その～は」と説明を加えるときは，**所有格の関係代名詞 whose** を使う（I have a smartphone whose screen can be folded.）。

CHECK （　）内の語句を並べかえて英文を完成させよう。
1. Do you know anything (who / the person / about / invented) the printing machine?
2. Steve Jobs founded a company (attracted / people / that) who shared his passion.
3. He created various devices (have changed / which / of / our ways) communicating.
4. She is a biologist (discovery / a huge impact / whose / had) on medical science.

TASK 1 私たちの生活に大きな影響を与えたものについて調べ，説明する文を書いてみよう。
例 instant noodles（インスタント麺），3D printers（3Dプリンター）
drones（ドローン），lithium-ion batteries（リチウムイオン電池）

TASK 2 ペアになって TASK 1 で書いたことをそれぞれ発表しよう。終わったら E-GUIDE の表現を使って相手に感想をたずね，会話を続けよう。
例 **A:** Let's talk about instant noodles. Do you know about the person **who** created instant noodles? His name was Ando Momofuku. What do you think of his invention?
B: Well, I'm a big fan of instant ramen. I can't imagine life without it.
A: Yes, exactly. He was a great person **whose** inventions had a great impact on our food culture.

E-GUIDE 相手に感想をたずね，会話を続けよう。
・What do you think of [about] ...?（…をどう思いますか）　・How do you feel about ...?（…をどのように感じますか）
・How was it? / How did you enjoy it? / How did you like it?（どうでしたか）
・What is [was] your impression of ...?（…の感想は？）

Vocabulary

・contribute to（～に貢献する）	・inspire（奮い立たせる）	・win a prize（賞をとる）	・talented（才能のある）
・do research（研究する）	・impress（感動させる）	・have an impact（影響を与える）	・originality（独創性）
・introduce（紹介［導入］する）	・respect [look up to]（～を尊敬する）	・imaginative（想像力に富んだ）	・invention, invent（発明，発明する）
・found（設立する）	・set a record（記録を打ち立てる）	・innovative（革新的な）	・discovery, discover（発見，発見する）

B 名詞に〈関係代名詞＋主語＋動詞〉を続けて説明を加える　目的格：目的語のはたらき

③ *The world record* **that** he set in 2016 has not been broken yet.
④ Tell me about *the person* **whom** you admire the most.
⑤ *The products* **she invented** have helped many people around the world.

F-GUIDE 名詞に説明を加える節の中で，関係代名詞は目的語のはたらきをする。
③それをどうするのか・どうしたのかを説明するときは，関係代名詞 **that** か **which** を使う。
④人についての説明を加える場合は **whom** を使う。ただしwhomの代わりにwhoを使うことが多い。
⑤目的格の関係代名詞を使わず，**名詞に直接〈主語＋動詞〉**を続けて説明を加えることも多い。

CHECK （　）内の語句を並べかえて英文を完成させよう。
1. Wi-Fi is (invention / a great / we / use / that) almost every day.
2. The scientist (the most / whom / respect / I) is Dr. Noguchi.
3. The (made / heater / no / they / uses) electricity and is environmentally friendly.

TASK 写真の防災井戸（**a well pump**）について（　）に適切な語を入れ，続きを書いてみよう。

This is a well pump (　　) people can use in times of disaster. When the water supply is stopped, they can get clean water from it. There will be many people (　　) we can help with this pump. ...

C 説明を加える関係代名詞節で前置詞を使う　前置詞の目的語のはたらき

⑥ This is *the new vaccine* **that** we have been waiting **for**.

F-GUIDE 名詞に説明を加える節の中で，関係代名詞は前置詞の目的語のはたらきをする。
⑥関係代名詞は**前置詞 for の目的語**のはたらきをしている（we have been waiting for the new vaccine）。
関係代名詞を使わずに the new vaccine we have been waiting for とすることもできる。また，the new vaccine for which we have been waiting のように前置詞を関係代名詞の前に入れることもできる（for that は不可）。

CHECK （　）内の語句を並べかえて英文を完成させよう（それぞれ2通りの文が可能）。
1. The scientist (talking / the teacher / is / whom / to) is a Nobel Prize winner.
2. We visited the laboratory (which / was / he / doing research / in).

TASK 科学者または何か偉業を成し遂げた人について調べ，紹介する文を書いてみよう。
例 The person **that** I'm going to talk **about** is ....

Self-Check（できることに✓を入れよう）
□ A〈関係代名詞＋動詞〉で説明を加えることができる。
□ B〈関係代名詞＋主語＋動詞〉で説明を加えることができる。
□ C 関係代名詞と前置詞を使って，説明を加えることができる。

QR 音声

QR 音声

QR フラッシュカード音声付

TASKの補助はワークシートで
書くためのステップを示すCHECK-TASKワークシートで，丁寧な説明と資料を提供。

TASKの空所補充問題
●空所補充問題で文法事項を確認。
●学習文法項目を使う場面や状況の英文が書くヒントに。

音声アイコン
TASK の解答例を音声で提供。ワークシートを使ってリスニング問題にも活用できる。

教科書紙面紹介

LESSON 16

Active Learning（発展）

Active Learning
Developing Ideas

SHARE 偉人を紹介しよう

①次の3人の偉人について，与えられた語句を参考に，紹介する文を考えよう。

1

Marie Curie
Polish scientist
discover radium
win two Nobel Prizes

2

Steve Jobs
American entrepreneur
co-founder of Apple Inc.
lead IT revolution

3

Edward Jenner
British doctor
discover vaccines
save millions of lives

②①の人物，または自由に発明家や偉人を選んで，その人物について調べたことをペアまたはグループで発表しよう。

例 Alexander Graham Bell was the Scottish-born inventor **who** created the telephone in 1876. The first phone call **that** he made was to his assistant, Thomas Watson. The communication tool he invented surprised many people.

学習文法項目を含む解答例
語句を使って同様の英文を書くことができる（SHARE ワークシートでサポート）。
》p.27

WRITE 発明品を考えよう

発明品を自由に考えてみよう。そしてその発明品が何を可能にするか紹介する文を書こう。

・発明品　例 time machine
・できること　例 It can take you to the past or the future.

例 I invented a machine **that** takes you to the past or the future. Yes, it is a time machine! It looks like a telephone box. You can choose the year you want to travel to. Do you want to try the machine **that** I invented?

自由英作文
生徒が自由な発想で書くことができる（WRITE ワークシートでサポート）。
》p.27

Self-Check
発明家や偉人を紹介することができた。3 2 1
自分の考えた発明品を紹介する文を書くことができた。3 2 1

Logical Thinking

想像したことやものを説明するときは，自分の頭のなかにあるアイデアがどうすれば相手に伝わるか考えて，文章を組み立てましょう。形や大きさなど，イメージが浮かびやすい概要をまず伝え，そのあと具体的な説明をします。伝える内容を箇条書きにして，どの順番で書くか構成を考えましょう。

102

各Zoneの構成

本課で学習したこと，活動した内容が，Zone末のまとめの活動で活用できる構成になっています。

本課を学習

Zone末の活動へ

各Zone末に，Logical Writing（書く活動 》pp.16-17）とまとめの活動（やり取り・話す活動 》pp.18-19）をセットで配置。各レッスンのトピックと関連しているので（》pp.4-5），本課でのコンパクトな活動からハードルの高い活動へ，スムーズに移行できます。

1st Zone	Logical Writing①	**叙述文**を書いてみよう！（高校入学前の出来事）
	1st Zoneまとめの活動	**スピーチ**をしてみよう！（高校入学前の出来事）
2nd Zone	Logical Writing②	**意見文**を書いてみよう！（学校に規則は必要か）
	2nd Zoneまとめの活動	Logical Thinking　論理的に考える
3rd Zone	Logical Writing③	**説明文**を書いてみよう！（絶滅危惧種の動物）
	3rd Zoneまとめの活動	**プレゼンテーション**をしてみよう！（絶滅危惧種の動物）
4th Zone	Logical Writing④	**問題解決文**を書いてみよう（日本の労働者不足）
	4th Zoneまとめの活動	**ディスカッション**をしてみよう！（都会の暮らしと地方の暮らし）
Plus	Logical Writing⑤	**説得文**を書いてみよう！（学校でのスマートフォン使用）
	まとめの活動	**ディベート**をしてみよう！（学校でのスマートフォン使用）

1st Zone
Logical Writing（Zone末活動❶）

論理的な文章のスタイル（叙述文・意見文・説明文・問題解決文・説得文）を，ステップを踏んで学習することができます。

Zone内の各活動がトピックと連動

本レッスンの学習や活動が生かせる。

本レッスン内のTASK

Zone末活動❶
Logical WritingのTASK

Zone末活動❷
スピーチのTASK

》pp.18-19

Logical Writing ❶

叙述文を書いてみよう！

叙述文とは

自分が体験した出来事などについて，順を追って述べる文章が叙述文です。休日にしたこと，旅行で体験したこと，部活動で経験したことなど，思い出に残っていることを文章にします。

1st Zoneでは，自分のことを述べたり，楽しかった出来事について述べたり，休日のことや行ったことがある場所のこと，学習や課外活動について述べたりする活動をしてきました。このLogical Writing ①では，1st Zoneのライティング活動のまとめとして，100〜130語の叙述文（a narrative paragraph）を書いてみることにします。

TASK 思い出に残っている高校入学前の出来事について，100〜130語のパラグラフを書こう。

叙述文の書き方

叙述文では，出来事を時間軸にそって順を追って述べていきます。まず，導入としてどんな出来事なのかを示してから出来事の内容を具体的に述べ，最後に感想などでまとめる，というのが叙述文の一般的なスタイルです。

- 導入 **どんな出来事について述べるのかを示す（いつ，どこで，だれが，何をしたのか）**
- 内容 **出来事の内容を時間軸にそって具体的に述べる**
- 感想 **出来事に関する感想や学んだことなどを述べる**

まず，次のパラグラフを読んでみましょう。

My First Day in Seattle

When I first went abroad, I was fourteen years old. I wanted to improve my English, so I decided to take part in an exchange program. About twenty students spent two weeks of their summer vacation living with families in Seattle. The journey took about fourteen hours. When we arrived at the school, we were surprised to find that the host families and the teachers had organized a welcome party for us. It was fun. We did our best to introduce ourselves to our host families. Then, after a couple of hours, we went to our new homes. I felt a little nervous. Fortunately, my host family was very kind, and I was able to spend a comfortable time with them. It was an unforgettable experience for me.

(128 words)

叙述文で大切なこと

叙述文では出来事を時間軸にそって書くことが求められますから，出来事の順番が前後しないようにしなければなりません。また，読む人の興味を引くような内容にすることも大切です。

形式を確認

叙述文に限らず，英語のパラグラフを書くときには形式に気を配る必要があります。以下のチェックポイントを毎回確認するようにしましょう。

- パラグラフの始めの字下げ（インデント）はできているか。パラグラフ内の文は改行せず連続して書かれているか。
- 大文字小文字や，コンマ・ピリオドなどのパンクチュエーション（句読法）は適切に使われているか。
- 内容を適切に表すタイトルがつけられているか。タイトルは中央に書かれているか。

叙述文で使う表現

叙述文では，時間の前後関係を表す次のような表現を使って，出来事の流れがわかりやすくなるようにします。

first, second, after that, then, later, next
when, while, before, after, as soon as

また，いつのことを述べているのかを示す動詞の形には十分注意しましょう。過去のことは過去形，過去のある時点よりも前のことはwe were surprised to find that the host families and the teachers had organized a welcome party for usのように過去完了形を使います。

では，次のステップに従って，TASKで示されたトピックについて叙述文を書いていきましょう。

STEP 1 **何について書くか考える**
まず，どの出来事について書くのかを考えます。いくつか思い出に残っている出来事をリストアップします。

STEP 2 **アウトライン（あらすじ）を書く**
読み手の興味を引くことができそうな出来事を選んで，「
ンをつくります。ここではまだメモ程度でかまいません。

STEP 3 **パラグラフを書く**
アウトラインができたら文章にしていきます。書き終えたら
けます。

STEP 4 **リバイズ（修正）する**
パラグラフを書き終えたら，ペアの相手かグループのほか
チェックリストを使ってお互いに気づいたことを伝え合い，書

ライティングチェックリスト

- ☑形式：タイトル，インデント，パンクチュエーションなど形式は
- ☑構成：時間軸にそって出来事が書かれているか
- ☑内容：出来事の内容が伝わるように書かれているか
- ☑文法：時制（動詞の形）は適切か
- ☑表現：時間の前後関係を示す表現が適切に使われているか

TASKに無理なく取り組めるワークシートをご用意

まとまった文章を書くのが苦手な生徒も取り組みやすい，ステップを踏んでTASKに取り組めるワークシートを「指導用データDVD-ROM」に収録。》p.25

Logical Writing ワークシート

TASK
思い出に残っている高校入学前の出来事について，100~130語のパラグラフを書こう。

1. 出来事に関して，メモにまとめましょう。

When?	
Where?	
With whom?	
What did you do?	
How did you feel	
Why is it important?	

2. Writing (the first draft) ー下書きを書いてみましょう。

（　　）

1st Zone
スピーチをしてみよう！（Zone末活動❷）

本課で学んだことや活動した内容，Logical Writing（pp.16-17）で書いたことを生かして，Zone末のまとめの活動として，スピーチ，プレゼンテーション，ディスカッション，ディベートを行います。

Speech

スピーチをしてみよう！

スピーチとは

集まっている人の前で自分のことを話したり，あるテーマについての自分の考えを述べたりするのがスピーチです。用意した原稿を「読む」のではなく，聞いている人の目を見ながら（アイコンタクト）語りかけるようにすることが大切です。また，声の大きさや話す速さ，メリハリにも気をつけて，聞き手の心をつかむようにしましょう。ときには表情や手振りで感情や意思などを表すことも有効です（ただし，不自然にならないように）。

TASK 1 思い出に残っている高校入学前の出来事について，1分間でスピーチをしよう。

Logical Writingとセットで取り組めるTASK
- Logical Writingで書いたパラグラフを，スピーチ原稿に改編。
- 「発表」の活動に集中できる構成。

スピーチ原稿を書く

1分間のスピーチでは，110〜140語の文章を読むことができます。したがって，この語数を参考に原稿をつくるようにしましょう。

スピーチを始めるときは，まず「あいさつ」と「自己紹介」をします。クラスでのスピーチならHi, everyone. I'm Hana.のような短いものでよいでしょう。次に，スピーチのテーマや目的をI'd like to talk about .... / I'm going to talk about ....のように伝えてから，スピーチの内容へと入っていきます。

ここで，モデルとなるスピーチ原稿を見てみましょう。Logical Writing ①のモデルパラグラフをスピーチ原稿にしたものです。

Hi, friends. I'm Hana. Today, I would like to talk about my first day in Seattle. When I was fourteen years old, I went to the United States. I wanted to improve my English, so I decided to join an exchange program. About twenty students spent two weeks of their summer vacation living with families in Seattle. When we arrived at the school after a long journey, we were surprised to find that the host families and the teachers had organized a welcome party for us. It was fun. We did our best to introduce ourselves to our host families. After the party, we went to our new homes. I felt a little nervous. Fortunately, my host family was very kind, and I was able to spend a comfortable time with them. It was an unforgettable experience for me. (139 words)

スピーチで大切なこと

スピーチでは最初の「つかみ」が大切です。みんなが「聞いてみたい」と思うような内容でスピーチを始めましょう。Hanaのスピーチの場合は，my first day in Seattleだけで「シアトルに行ったんだ」「何をしに行ったんだろう」「どんなことがあったんだろう」と聞く人は思うでしょう。また，Have any of you been abroad?のように問いかけたり，聞く人が興味をもちそうな事実でスピーチを始めるのも効果的です。シアトルという都市について話すのであれば，Seattle is the birthplace of the worldwide coffee chain.のような内容が考えられます。

36

スピーチをしてみよう！

では，Logical Writing ①で作成した叙述文をスピーチ用の原稿にして，次の点に留意してグループ内で発表しましょう。

- 原稿を棒読みするのではなく，みんなのほうを見ながら話します。
- みんなにはっきりと聞こえるように，声の大きさや話す速さにも気をつけます。
- 英語の発音や抑揚も意識して，必要なところにはポーズを入れて聞きやすくします。
- その時の気持ちが伝わるような話し方をします（楽しかった場面は楽しそうに）。
- 最後はThank you. / Thank you for listening.でスピーチを終えます。
- 聞いている人は，スピーチが終わったら拍手をしましょう！

全員のスピーチが終わったら，TASK 2 に挑戦してみましょう。

TASK 2 思い出に残っている高校入学後の出来事について，1分間でスピーチをしよう。

STEP 1 何について話すか考える
まず，どの出来事について書くのかを考えます。いくつか思い出に残っている出来事をリストアップします。

STEP 2 アウトライン（あらすじ）を書く
読み手の興味を引くことができそうな出来事を選んで，「導入」→「内容」→「感想」のアウトラインをつくります。

STEP 3 スピーチ原稿を書く
アウトラインができたらスピーチ用の原稿にします。最初の「つかみ」で聞く人の興味を引くことができるようにします。書き終わったら読み直して修正します。

STEP 4 発表する（スピーチ）
スピーチ原稿ができたら，ペアまたはグループになって発表げた留意点に気をつけます。

スピーチへのフィードバック

スピーチが終わったら拍手をし，次のチェックリストを使って気づす。また，発表した内容に関して聞きたいことがあれば質問しましょ

スピーチチェックリスト
- ☑アイコンタクト・姿勢：みんなのほうを見て話していたか
- ☑声の大きさ・速さ・ポーズ：聞きやすかったか
- ☑発音・抑揚：棒読みになっていなかったか
- ☑構成：「導入」→「内容」→「感想」の構成になっていたか
- ☑内容：聞く人の興味を引くような内容でわかりやすかったか

話すTASKに無理なく取り組めるワークシートをご用意

話す活動が苦手な生徒も取り組みやすいように，アイデアだしのヒントを盛り込んだワークシートを「指導用データDVD-ROM」に収録。〉〉〉p.25

Zone末活動用ワークシート

スピーチで大切なこと
■ スピーチでは最初の「　　」が大切です。みんなが「聞いてみたい」と思うような内容でスピーチを始めましょう。Have any of you been abroad? のように問いかけたり，聞く人が興味をもちそうな事実でスピーチを始めるのも効果的です。

1. 次のテーマで話すときに、どのような「つかみ」が考えられますか。それぞれ1~2文で書いてみましょう。
① 富士山に登ったことを話す場合

② ギターを習い始めたことを話す場合

特色 3

文法学習＆授業準備を充実サポート

生徒用教材の活用例

教室でも自宅でも手厚い学習サポート

教科書準拠教材4種類

❶Grammar Book / Essential Grammar Book 》》p.21

❷Workbook 》》p.22

❸My English Portfolio 》》p.23

教科書準拠の英文法テキスト

教科書の学習項目を使って表現力を強化

自己表現練習＆自己表現ストック帳

教科書 be Clear

教科書を中心に文法と表現活動が連動して学べる

総合英語「be 5th Edition」シリーズとの併用で学習効率UP

参考書で文法を体系的に学び，表現力の基盤をつくる。

総合英語 be 5th Edition

デジタル教科書で学習文法項目を参照できる 》》p.30

教科書との対象表を指導用データDVD-ROMに収録

総合英語 be 準拠グラマー＆ワークブック

English Grammar NOW PRINTING

文法解説＋演習問題のグラマーテキストで知識を確認

Workbook NOW PRINTING

ワークブックの豊富な演習で文法を定着

生徒用教材❶

Grammar Book・Essential Grammar Book

表現力のベースとなる，確かな英文法力を築くための英文法テキスト。

- 文法の理解と定着→英文を書く力につなげる。
- 〈教科書学習項目＋α〉で，幅広い文法項目を選択して学習可能。

Grammar Book（本冊：128ページ，解答・解説書：40ページ）

- 教科書各レッスンに対し4ページの，丁寧な文法解説と豊富な演習。

左ページで文法解説，右ページで演習問題

レッスンの文法を使って，1文の英作文

Essential Grammar Book（本冊：96ページ，解答・解説書：40ページ）

- 教科書各レッスン2ページ。重要項目をコンパクトにまとめた解説と演習。
- 例文は教科書と完全一致。教科書と並行して使える最適な1冊。

文法の整理から問題演習へ

NEW

Review（まとめ・問題）・暗唱用例文集

注）Grammar BookとEssential Grammar Bookには問題の重複があります。

生徒用教材❷ Workbook

教科書の学習項目をバランスよく学習し，文法力・表現力を強化する問題集。

- Listening：教科書のStart-Upの音声を聞いて設問に答える。
  Vocabulary：教科書のトピックで頻出する語彙・表現を学習。
  Writing：文法事項の確認から状況に応じた英作文まで，豊富な演習量で表現力を磨く。
- 本冊：68ページ，解答・解説書：36ページ

本課 1レッスン2ページ構成

教科書と同じテーマの問題演習で，表現のバリエーションを増やすことができる。

Zone REVIEW 文法事項をまとめて復習

教科書と連動しているので，各Zoneの復習が効果的に行える。

生徒用教材❸ My English Portfolio

学習した文法事項を発信につなげる自己表現練習＆自己表現ストック帳。

- 3 Stepで表現力を磨く！
  Step 1：【文法の定着】教科書例文と類似した英作文で文法の理解・定着。
  Step 2：【短文練習】学習文法項目を使って，自分のことばで英文をつくる。
  Step 3：【英作文】論理構造をもった40～60語程度のパラグラフを書く。
- 本冊：56ページ，解答書：24ページ

本課 1レッスン2ページ構成

教科書例文を手がかりに1文が書けるように。

教科書のWRITEと連動。学習ノートとして使用できる。

自己評価でモチベーションUP。

巻末に教科書例文とVocabularyを日本語訳付きで掲載

解答書には，My Essayの解答例を複数掲載。

指導資料セット

指導資料セットの３つのアイテムで，授業の準備，テスト，プリントづくりを徹底サポート。

❶指導書本冊

- Start-Upのモデル会話は，1文ごとに英文解説，文法解説を掲載。
- TASK，SHARE，WRITE等の活動では，豊富な解答例を掲載。

❷Teacher’s Book（朱書本）》》pp.28-29

- 解答，注意すべき点などを行間に掲載。
- 巻末にリスニングスクリプトや，TASK，SHARE，WRITE等の解答例をまとめて掲載。

❸指導用データ DVD-ROM 活用例 》》pp.26-27

- 授業プリントやテスト作成のための，さまざまなデータを収録。

項目名	データ名	ファイル形式
①教科書データ	(1)教科書本文データ	WORD
	(2)教科書和訳	WORD
	(3)教科書画像データ	JPG
	(4)生徒配布用解答	WORD
	(5)教科書リスニング問題音声	MP3
	(6)QRコードリンク先リスト	EXCEL
	(7)教科書紙面PDF	PDF
	(8)参考書との対照表	EXCEL
②授業用ワークシート	(9)Warm-Up シート	WORD
	(10)Introduction 練習シート	WORD
	(11)ディクテーション・シート	WORD
	(12)Grammar 導入シート	WORD
	(13)基本例文暗唱シート	WORD
	(14)短文英作練習シート	WORD
	(15)CHECK-TASK ワークシート	WORD
	(16)Vocabulary確認シート	WORD
	(17)SHAREワークシート	WORD
	(18)WRITE ワークシート	WORD
	(19)Logical Writingワークシート *NEW*	WORD
	(20)Zone末活動ワークシート *NEW*	WORD
③テスト用データ	(21)各課小テスト	WORD
	(22)評価問題	WORD
	(23)テスト用素材 *NEW*	JPG, PDF
	(24)パフォーマンステスト *NEW*	WORD
④テスト作成プログラム	(25) テストクリエイター	
⑤指導用パワーポイント	(26)指導用パワーポイント	PowerPoint
	(27)指導用パワーポイントHTML版	HTML Document
⑥デジタル教科書	(28)デジタル教科書 *NEW*	
⑦指導書本冊PDF版	(29)指導書本冊PDF版 *NEW*	PDF
⑧シラバス等データ	(30)年間指導計画案	WORD, PDF
	(31)シラバスおよび評価規準	WORD, PDF
	(32)観点別評価規準例（ルーブリック）	WORD, PDF
	(33)採択理由書	WORD, PDF

→p.31
→p.30

※本ページに掲載されている仕様は2025年4月現在のもので，予告なしに変更になることがあります。

教師用指導資料

指導用データDVD-ROM 活用のイメージ

教科書の各パートの学習に適したワークシートをご用意しました。
授業準備にも授業中にもフル活用していただけます。

導入・リスニング

(11) ディクテーションシート
Start-Upの英文と基本例文をディクテーションで導入

■ 音声を聞いて，空所を埋めよう。
教科書 p. 13 **Start-Up**（CD：指導用 1-7 / 生徒用 1-2）

Mike : Good morning, Shota!
Shota : Oh, good morning, Mike! Do you (　　) to school?
Mike : No. I (　　) far from here, so I usually (　　) the train. It (　　) about an hour.
Shota : An hour? Wow! I live (　　), so I walk to school. It only (　　) ten minutes.
Mike : Oh, (　　)! You're lucky! I don't (　　) the long train ride.

■ 音声を聞いて，空所を埋めよう。
教科書 pp. 14–15 **INTERACTIONS**（CD:指導用 1-9 / 生徒用 1-4）

A ① I (　　) a cat and (　　) him so much.
② I usually (　　) to school at 8:30.

授業を円滑にする デジタル教材も充実

(26) 指導用パワーポイント
Vocabularyをフラッシュカードで学習できる 》p.31

(28) デジタル教科書 NEW
Start-Upの英文がカラオケ再生される 》p.30

活動TASKのサポート

(15) CHECK-TASKワークシート
授業で，CHECKとTASKの活動をサポートする書き込み用シート

LESSON 1　Clear !　教科書 pp.14-15
CHECK/TASK Worksheet　年　組　番　氏名

A
CHECK　[　] から選んだ語を適切な形にして，現在のことを表す英文を完成させよう。
[walk / look / live / have / import / work / support]
▶イラストに合うように，空所を埋めよう。［知］
1. My grandfather (　　) in Okinawa. He (　　) his dog every day.
2. Andy (　　) twin sisters. They (　　) like each other.
3. Sara and I are soccer fans. We (　　) the local team.
4. My uncle (　　) for a trading company. He (　　) coffee beans.

[set / get cold]
[live / study]

C
CHECK　(　) に適切な語を入れて英文を完成させよう。
語句のヒント [go / do / play]
1. "What are you (　　) after class?" "I'm (　　) tennis with my sister."
2. My mother and I are (　　) shopping this weekend.

TASK（書く・協同）今日の放課後か週末の予定を自由に考えて書いてみよう。
▶まず，空所を埋めて英文を完成させよう。［知］
I'm (　　) Chris to talk about our plan for this weekend.
We (　　) (　　) cycling.
▶上の文を参考にして，今日の放課後か週末の予定を自由に考えて書いてみよう。［思］［態］

(16) Vocabulary確認シート
教科書の語彙を使った穴埋め問題

(1) 弟はスポーツが得意である。
My brother (　　) (　　) at sports.
(2) 彼は父親によく似ている。
He (　　) (　　) his father a lot.
(3) 彼女はX中学の卒業生だ。
She is a (　　) (　　) X junior high.
(4) 私の両親は同じ会社で働いている。
My parents (　　) (　　) the same company.
(5) 彼はいつも8時に学校に出かける。
He always (　　) (　　) school at 8:00.
(6) 私は毎日歩いて学校に通っている。
I (　　) to (　　) every day.
(7) 彼女は駅行きのバスを待っている。
She is (　　) (　　) the bus to the station.
(8) 彼女はバレーボール部に所属している。
She (　　) (　　) the volleyball club.
(9) 私は学校から帰ると犬の散歩をする。
I (　　) my (　　) when I get home from school.
(10) 忘れず歯を磨いてね。
Don't forget to (　　) your (　　).
(11) 妹は着替えるのに時間がかかる。
My sister takes a long time to (　　) (　　).
(12) 彼は起きてすぐ朝食をとる。
He (　　) (　　) right after he gets up.

文法学習

(12) Grammar導入シート
文法のポイント解説と確認問題で理解を深める

LESSON 1　Grammar 導入シート：現在形　教 pp. 13-15

［文法ポイント］：現在のことは現在形で表す
I play soccer.（ふだんすること）　I'm waiting for the bus.（今している最中のこと）
現在形を使って，現在の状態やふだんしている動作を表す。また，現在進行形（am/are/is + 動詞の ing 形）は今している最中のこと，一時的な状態や変化している途中のことを表す。

A 現在のことを表す
① I **have** a cat and **love** him so much.（私は猫を飼っていてその猫のことが大好きです［現在の状態，心理的な状態］）
② I *usually* **get** to school at 8:30.（私はふだん 8 時 30 分に学校に着きます［習慣的な動作］）
③ My mother **teaches** biology at a high school.（私の母は高校で生物を教えています［職業や習性など］）
■ **動詞の現在形**：一般的な状態や心理的な状態，習慣的な動作や職業や習性，話す言語などを表す。

【Try!】日本語の意味に合うように［　］の動詞を適切な形にして，英文を完成させなさい。
1. My grandfather (　　) in Saitama. [live]（私の祖父は埼玉に住んでいる）
2. She (　　) my name. [know]（彼女は私の名前を知っている）

まとめの活動

(17) SHAREワークシート
手順を示して「話す」活動をサポート

クラスメイトのことを紹介しよう

① クラスメイトにインタビューして情報を集めよう。
▶まずは自分のことについて，A～D の質問に答えを準備しよう。

A: Which junior high school did you go to?
→ I went to (　　) junior high (school).
B: How do you come to school?
Ex) I take the train[bus] to school. / I ride my bike[bicycle] to school. / I walk to school.
→ (　　).
C: What do you do in your free time?
→ I (　　).
D: What is your favorite [sport / food / color]?
→ My favorite (　　) is (　　).

② インタビューしたクラスメイトのことをメモしよう。
A: _____ went to _____.

(18) WRITEワークシート
「書く」ためのステップと3レベルの解答例

「朝の習慣」について書こう

Step 1 朝することを書き出そう。
1．( ) に適切な語句を入れて英文を完成させよう。
I (　　) up at 6:00. I (　　) dressed. I (　　) breakfast.
I (　　) my bike to school. It (　　) fifteen minutes.
2．自分が朝していることを書き出そう。
……
……

(13) 基本例文暗唱シート
基本例文と日本語訳を対照しながら暗唱できる

① I have a cat and love him so much.	① 私は猫を飼っていてその猫のことが大好きです。
② I usually get to school at 8:30.	② 私はふだん 8 時 30 分に学校に着きます。
③ My mother teaches biology at a high school.	③ 私の母は高校で生物を教えています。
④ I'm writing an essay for my English class.	④ 私は英語の授業のために作文を書いているところです。
⑤ I think my cat is getting fat.	⑤ 私の猫は太ってきていると思います。

(14) 短文英作練習シート
基本例文で学んだ文法を使った和文英訳演習

■ 教科書の例文を参考にして，次の日本語を英語に直しなさい。
□ 1. 私の叔母は横浜に住んでいます。
□ 2. 私は新しい自転車がほしいです。
□ 3. 私はいつもこの店で靴を買います。
□ 4. 私はふだん電車で通学しています。

Teacher's Book(朱書本)紙面見本

授業に必要な情報をコンパクトにまとめて収録。
英語で授業を進めるための英語表現も掲載しています。

❶指導用音声CDのトラックナンバーを紙面の左側に掲載。
❷CHECK・TASKの指示文の英語訳をご用意。
❸巻末にTASK・WRITEの解答例を収録。

LESSON 1 Meeting People
自分のことを話す

Start-Up 学校の近くで，登校中のMikeとShotaが会いました。

Mike: Good morning, Shota!
Shota: Oh, good morning, Mike! Do you walk to school?
Mike: No. I live far from here, so I usually take the train. It takes about an hour.
Shota: An hour? Wow! I live nearby, so I walk to school. It only takes ten minutes.
Mike: Oh, really! You're lucky! I don't like the long t

Listening-TASK True or False? 1.Ⓣ/F 2.Ⓣ/F 3.T/Ⓕ

Tips for Better Communication 相手からの問いかけに答えるときに，もう1つ情報を加え が生まれ，その情報をもとにさらに会話を発展させることができます。

Forms 現在のことは現在形で表す
現在のことを伝えるときには，動詞の現在形を使います。現在形を使うと の状態や，「電車に乗る」など，ふだん繰り返し行うことを表すことができます
I live far from here.
I take the train.
このような文の動詞の現在形が表すのは，「今」を中心として，過去から現 の範囲です。Do you walk to school?であれば，今現在だけのことでは とたずねているのです。

Expressions あいづちで関心を示す
Oh, really! のようなあいづちを打つことで，「そうなんだ！」と相手の話に ことができます。Really?なら「そうなの？」というニュアンスです。I see. すこともできます。

Sounds /l/と/r/の発音
/l/は舌先を上の歯茎にあてて発音し，/r/は舌先をどこにもつけず舌全体
live, lucky, long, usually, school / really, ride, from, train, f
light/right, lead/read, glass/grass, collect/correct

Talk
会話の内容を確認し，MikeとShotaになりきって会話をしてみよう！

Pick-Up 「学校には電車で来ます」と言うとき，交通手段を表すbyを使ったI come to s
I take the train (to school). とすると英語らしい表現になります。バスや自転車なら bike[bicycle]. という表現を使います。徒歩通学であればI walk to school. が自然な

Interactions 自分のことや身近な人のことを話す

A 現在のことを表す (p.062-065) 現在形
① I have a cat and love him so much.
② I usually get to school at 8:30.
③ My mother teaches biology at a high school.

F-GUIDE 次のような場合は動詞の現在形を使う。
①「持っている」「住んでいる」のような現在の状態や，「好きだ」のような現在の心理的な状態を表すとき。
②繰り返しすることや習慣になっていることを表すとき。
③職業や習性，話す言語などを表すとき(She speaks several languages.)。

CHECK [ ]から選んだ語を適切な形にして，現在のことを表す英文を完成させよう。
[walk / look / live / have / import / work / support]
1. My grandfather (lives) in Okinawa. He (walks) his dog every day.
2. Andy (has) twin sisters. They (look) like each other.
3. Sara and I are soccer fans. We (support) the local team.
4. My uncle (works) for a trading company. He (imports) coffee beans.

TASK 1 CHECK を参考に，自分や家族など，身近な人について友人に紹介する文を3文で書いてみよう。
TASK 2 ペアになって TASK 1 で書いたことを話してみよう。相手は E-GUIDE の表現を使って反応したり，質問したりしよう。
A: My brother is a university student. He works part-time nowadays.
B: Really? What does he do?
A: He works at a hamburger shop. I sometimes go there after school.

E-GUIDE 相手の発言内容に対して感じたことをあいづちで表現しよう。
・I see.(なるほど，わかった) ・I think so, too.(私もそう思います) ・Is that true?(本当に?)
・I can't believe it!(信じられない!) ・Really!(そうなんだ!) / Really?(本当?，そうなの?) ・No way!(ありえない!)
・That's nice[good / great / wonderful / fantastic]!(すばらしい!) ・That's too bad.(それはお気の毒に)

Vocabulary
・be good at(〜が得意である) ・leave for school(学校に出かける) ・walk one's dog(犬の散歩をする) ・do club activities(部活動をする)
・resemble[look like](〜に似ている) ・walk to school(徒歩通学する) ・brush one's teeth(歯を磨く) ・go to cram school(塾に行く)
・be a graduate of(〜の卒業生である) ・wait for the bus(バスを待つ) ・get dressed(着替える) ・work part-time(アルバイトをする)
・work for[in, at](〜で働く) ・belong to(〜に所属している) ・have[eat] breakfast(朝食をとる) ・go shopping(買い物に行く)

14

B 途中であることを表す (p.067-062) 現在進行形
④ I'm writing an essay for my English class.
⑤ I think my cat is getting fat.

F-GUIDE 次のような場合は現在進行形(am/are/is+動詞のing形)を使う。
④現在している最中のことを表すとき。
⑤変化している途中のことや，現在の一時的な状態(She's living in New York.)を表すとき。

CHECK [ ]から選んだ語を適切な形にして，英文を完成させよう。
1. After a long discussion, they are taking a break now.
2. It is getting dark. Let's go home.
3. My sister is wearing a suit for today's ceremony.

TASK イラストの状況を想像して説明する文を，語句を参考に書いてみよう。
[listen / sing] [wait / look at] [set / get cold]
1. Ren is listening to music. He is singing along. Maybe

C これからの予定を表す
⑥ My grandmother is visiting us tomorrow.

F-GUIDE 次のような場合は現在進行形を使って予定を表すことができる。
⑥これからしようとしている個人的な予定を表すときに現在進行形を使う(「いつするの

CHECK ( )に適切な語を入れて英文を完成させよう。
1. "What are you (doing) after class?" "I'm (playing) tennis w
2. My mother and I are (going) shopping this weekend.

TASK 今日の放課後か週末の予定を自由に考えて書いてみよう。
e.g. I'm visiting my grandparents this weekend. I haven't seen them since last year. / I'm studying for the vocabulary test after school. I want to get really good grades this year. / I'm not going to tennis practice today. I need to study for tomorrow's vocabulary test.

Self-Check (できるこ
A 現在のことを表すこと
B 途中であることを表す
C これからの予定を表す

Active Learning
Meeting People
SHARE クラスメイトのことを紹介しよう
①クラスメイトにインタビューして，集めた情報をメモしよう。
Which junior high school did you go to?
How do you come to school? → I take a bus [a train]. / I walk to school.
What do you do in your free time? → I usually draw pictures or watch movies (in my free time).
What is your favorite sport [food / subject]? → My favorite sport [it] is basketball. / (I like) basketball.

name / school	＿＿＿＿ went to ＿＿＿＿.
train / bus / bike / walk	He/She ＿＿＿＿.
free time	He/She ＿＿＿＿ in his/her free time.
favorite thing	His/Her favorite ＿＿＿＿ is ＿＿＿＿.

②インタビューしたクラスメイトのことをグループに紹介しよう。
聞き手はそれぞれの発表について，感想を言ったり質問したりしよう。

WRITE 「朝の習慣」について書こう
①自分が朝していることを書き出そう。
I get up at 6:00. I get dressed. I eat breakfast.
I ride my bike to school. It takes fifteen minutes.
②andやfirst, then, after thatなどを使って，時間の流れにそって朝の習慣を書いてみよう。
＿＿＿＿
＿＿＿＿
I usually get up at 6:00. First, I get dressed, and then I eat breakfast. I sometimes take my dog for a walk. After that, I leave for school at 7:15.

Self-Check
インタビューしたクラスメイトを紹介することができた。3 2 1
朝の習慣について，時間の流れにそって書くことができた。3 2 1
3:よくできた。2:まあまあできた。1:あまりできなかった。

Logical Thinking
自分のことを伝えるときに，I play the piano. I read many books. のようにばらばらの事実を並べるだけではつながりのない文章になってしまいます。I play the piano. I love classical music. のように，前の文につながるような情報を加えるなど，文と文の関連を意識して，まとまりのある文章にしましょう。

16

デジタル教材❶ デジタル教科書

指導資料セット 指導用データ
DVD-ROMに収録。

特色

- みらいスクールのプラットフォームを採用（PC，タブレット，スマートフォン各種端末に対応）。
- フラッシュカード，音読練習，解答表示などの機能を収録。
- 授業で扱っている部分を拡大表示できて，電子黒板風に使用可能。

対応：PC（Windows, Mac），タブレット（iPad, Android），Chromebook®，Surface，スマートフォン（iPhone, Android）

画面見本

●メイン画面
拡大・縮小・ペンツールを使った書き込みのほか，アイコンから音声再生，解答表示などができます。

●参考書ポップアップ
アイコンからABC各文法項目に該当する参考書ページが参照できます。

●解答・リスニング問題スクリプト
ポップアップ画面で表示されます。

●フラッシュカード
英語→日本語，日本語→英語，英語のみから選択できます。

●音読画面
音声の速さを選ぶことができます。

デジタル教材❷ 指導用パワーポイント

指導資料セット 指導用データ
DVD-ROMに収録。

特色

- 教科書の本文再生，Vocabulary のフラッシュカードなどの機能を収録。
- ご自身でスライドを追加・削除することが可能です。
- Chromebook® ご使用校向けのHTML版もご用意しています。

＊準拠教材 Grammar Book，総合英語be準拠 English Grammarにも指導用パワーポイントをご用意。

画面見本

●各レッスンの収録内容
各レッスン1枚目の目次スライドから表示したい項目を選択できます。

●音声再生
Start-Up のモデル英文，基本例文，WRITE 等の解答例の英文の音声を再生することができます。

●フラッシュカード（音声付き）
Vocabularyを英語→日本語の順で表示します。

●解答（例）の表示
CHECK や TASK の解答（例）を表示します。

デジタル教材❸

新QRコンテンツ

教科書のQRコードから
アクセス。

特色

- モデル会話やVocabulary等の音声再生時にテキストが表示されます。
- フラッシュカード／速度変換／動画再生（一部）／題材リンク集

画面見本

●目次
LESSONごとに収録内容が表示されます。

●本文再生
テキストを見ながら音声を聞くことができます。

●フラッシュカード（音声付き）
英語→日本語の順で表示します。

be Clear I New Edition 周辺教材一覧

教師用	指導用資料	**■指導資料セット**　定価：未定 収録内容❶指導書本冊 ❷Teacher's Book（朱書本） ❸指導用データDVD-ROM（指導用パワーポイント・指導書本冊PDF版含む） ❹指導者用デジタル教科書（❸に収録）*NEW*
		■Teacher's Book（朱書本）　定価：未定　※上記❷の単体での販売となります。
	指導用音声CD	**■指導用音声CD**　8枚組　定価：未定 収録内容：各課Start-Up／Sounds／基本例文／TASK／CHECK／SHARE／WRITEなど ※指導用音声CDをご購入いただくと，MP3ファイルをダウンロードできます。
生徒用	デジタル教材	**■学習者用デジタル教科書**　定価：未定 収録内容：教科書紙面／再生サイトへのリンクボタン
	準拠教材	**■Grammar Book（文法型）**　定価：792円（本体720円） B5判／本冊128ページ＋解答・解説書40ページ
		■Essential Grammar Book（文法型）　定価：748円（本体680円） B5判／本冊96ページ＋解答・解説書40ページ
		■Workbook（表現型）　定価：715円（本体650円） B5判／本冊68ページ＋解答・解説書36ページ
		■My English Portfolio　定価：308円（本体280円） B5判／本冊56ページ＋解答書24ページ

※本ページに掲載されている仕様および価格等は2025年4月現在のもので，予告なしに変更になることがあります。

●教科書音声収録リスト

収録音声	教科書QRコード	指導者用デジタル教科書	指導用パワーポイント	指導用音声CD
Start-Up 会話	●	●	●	●
リスニング問題	●	●	●	●
Sounds（発音）	●	●	●	●
基本例文	●	●	●	●
E-GUIDE	●	●	●	●
Vocabulary	●	●	●	●
CHECK 解答音声			●	●
TASK 解答例			●	●
SHARE・WRITE			●	●
CHECK・TASK 英語指示文				●
場面別会話（Keep Talking）	●	●※外部リンク		●
スピーチ・プレゼン等	●	●※外部リンク		●